

2010年度 BEANS総合研究会報告

BEANS総合研究会が経済産業省、独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構から御来賓をお迎えして、2010年6月15日、16日の2日間、東京都府中市のクロスウェーブ府中にて総勢89名の参加により開催されました。本総合研究会は各テーマ、研究員の昨年度研究開発報告、各拠点間の技術融合による新技術創出、BEANSが創出する未来に関する議論、及びプロジェクト内協力、競争力の向上を目的として実施されました。

15日（1日目）は来賓ご挨拶、遊佐プロジェクト・リーダー挨拶、ポスター形式発表のためのインデクシングを実施後、ポスター形式による昨年度研究成果発表が行われました。

プロジェクト・リーダー挨拶では総合研究会の目的と主旨についての意義の確認、および今年度はプロジェクト中間評価年度にあたり、研究計画の遂行力の強化と成果の見える化が重要なポイントであり、プロジェクト研究員が全員一丸となって目標クリアに向けて注力することが重要であるとの話がありました。



PL挨拶



ポスター発表風景

ポスター形式による昨年度研究開発報告は44件ありました。今年度のポスター成果発表では、インデクシングを実施し、各研究員が成果内容のアピールを各1分で行いました。インデクシングによる概要説明は好評でその後のポスター成果発表にも大きな意味がありました。また、各研究員は優秀ポスター発表を目指して、各自の持ち時間ポスター発表を行い、多くの有効な議論が交わされていました。ポスター成果発表の最後に藤田サブ・プロジェクト・リーダーからポスター発表に関する講評がありました。その後は食事を挟み、各研究テーマに関する議論が深夜まで交わされていました。

16日（2日目）はグループ討議、技術委員会、グループ討議発表報告、口頭研究発表、優秀ポスター賞、優秀研究表彰が行われました。



全体会議風景



藤田SPL講評

グループ討議では各拠点センターの研究員を産官学が融合する形で4つのグループに分け、現在取り組んでいる研究開発が10年後のライフスタイルに貢献すると共に、どのようにして革新的なデバイスの実現に結びつくのかに関して、議論が交わされました。グループ討議と並行して技術委員会が開催され、プロジェクト参加組合員企業との情報交換として、各センター長より平成21年度プロジェクト成果報告並びに2件の技術講演（東京大学酒井教授、首都大学東京諸貫教授）が行われました。

その後、グループ討議の結果が参加者全員に紹介され、10年後のライフスタイルに関して会場からも多くの意見が出されていました。

口頭研究発表では、各センター長推薦による以下の研究員の優秀研究発表が行われ、活発的な質疑が交わされました。

Life BEANSセンター	柴田 秀彬
Life BEANSセンター九州	原田健太郎
3D BEANSセンター	額賀 理
Macro BEANSセンター	村上 隆昭

表彰式では上記研究員の他、以下の優秀ポスター賞の表彰も行われ、遊佐プロジェクト・リーダーより表彰状が手渡されました。

最優秀ポスター賞	小島 伸彦
優秀ポスター賞	津田 行子、小林 健、 嶋田友一郎、李 永芳

最後にBEANS研究所の青柳研究調整監の講評の後、散会となりました。



技術委員会



グループ討議&発表